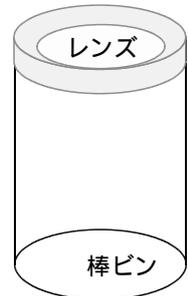


資料	メダカやモンシロチョウの卵，水生昆虫，なんでもこいの便利グッズ
	ルーペ付き棒ピン

小学校では観察に虫眼鏡をよく使います。虫眼鏡は，ポケットにも入り野外観察にも利用できるなどの利点もありますが，ピントを合わせるために常に手で固定しておかなければならないなどの難点があります。

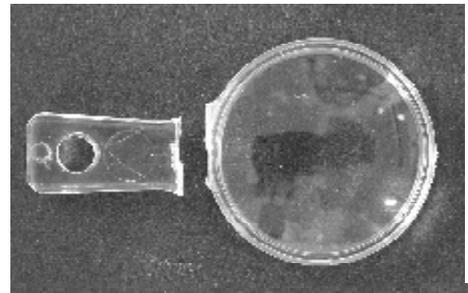
そこで，3～5倍程度のプラスチックレンズを棒ピンの蓋に取り付け，そのままのぞけば観察できるルーペ付き棒ピンを紹介します。モンシロチョウの卵から幼虫がふ化してくるところや，メダカの卵の観察，アリなどの小昆虫や水生昆虫など動きのあるものの観察まで，いろいろ利用できます。



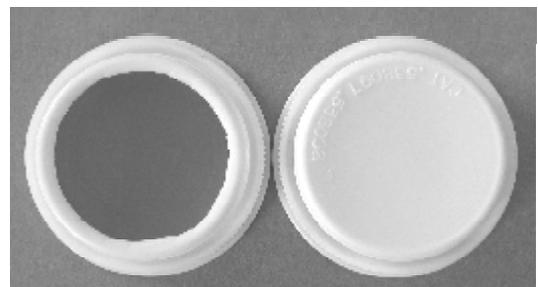
- 1 準備
- 棒びん（スチロール製 30ml）
 - プラスチックルーペ（レンズ径22mm）
 - 接着剤（プラスチック用のもの，瞬間接着剤は不可）

2 作製

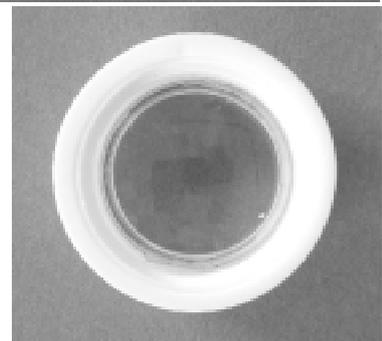
- (1) レンズの柄を切断する。
プラスチックカッターで柄に傷をつけ，折る。
（きれいに切断したい場合は両面それぞれ10回以上は傷をつけるとよい）



- (2) 棒びん蓋の下側をカッターで切り取り，上側に付いている赤いキャップをはずす。
（切り取った部分にレンズを接着するので，多少はのりしろを残して切る。）



- (3) 接着剤でレンズをつける。
レンズに接着剤が付着すると観察しにくくなるので十分に注意する。また，瞬間接着剤はプラスチックレンズの表面を溶かしてしまうものがあるので，使用できないものがある。



棒びんの底面ではほぼピントが合うので，観察物を棒びんに入れて蓋をするだけで観察ができる。また，棒びんを置く場所を変えて背景色（黒や白）を変化させたり，アルミニウムはくを利用して横からの光を多くしたりすることで，見え方が変わってくる。